

何かを探しに来た場所で、
今も何かを探し続けている。

ビヨンドトゥモロー

エンデバー2017 応募受付中

自分の未来の役割を考えてみたい高校生のための人材育成プログラム
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】

BEYOND
Tomorrow

内容

- ① 高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）
- ② 年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）

対象者

応募時点で児童養護施設に暮らしている高校1年生、2年生
（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募方法

2017年2月3日（金）（当日消印有効）までに必要書類を郵送
（応募書類は全国の児童養護施設に配布しています）

選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 個人面談（本人・施設長）
（面接は、各施設を訪問して行います。詳細は、1次選考通過者に通知します）

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨントゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる共感力を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“私のこれまでの経験が、ビヨントゥモローでなら活かせると考えました”

- 荒川 未菜子 長野県上田高等学校

7歳の時から児童養護施設に暮らす。周りの大人に支えられ、充実した生活を送り、大きく成長させてもらった経験から、将来は、自分もセーフティネットの一翼を担い、一人では生きていくことができない人を少しでも支えられるような大人になりたいと考えている。ビヨントゥモローに参加することで、自分と同じように周囲と異なる体験をしてきた仲間に出会い、そして人を支えることについて学びたいと考えている。グローバルな課題に関心があり、エボラ出血熱やSDGs（持続可能な開発目標）について課題研究を行っている。



“私にとってビヨントゥモローは、家族のような場所です。何でも話せて、一人じゃないと思えて、'ただいま'といえる場所です。ビヨントゥモローとの出会いがなかったならば、私は死んでいたのかもしれない”

- 佐藤 迅 東京法律専門学校仙台校

東日本大震災で母を亡くし、自宅も流失。母の死は自分のせいだと自分自身を責め、生きる意味を見失ったこともあった。しかし、高校生でビヨントゥモローの活動に参加し、初めて被災体験を話したのをきっかけに「自分にも何かできるのではないか」と思えるようになった。そして、苦しい時、辛い時に支えあい共に前に進んでくれる仲間と出会うことができたことに幸せを感じている。

ビヨントゥモロー エンデバー2017の内容

エンデバー2017は、年間4回のプログラム開催と、進学準備奨学金給付の2つの柱から成る、包括的な人材育成事業です。本プログラムを通じて、広い視野から、自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援しています（プログラム開催期間：2017年3月～2018年3月）。

進学準備奨学金給付

2017年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2017年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません）。

人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考える他、具体的な進路選択についてのガイダンスなどが開催されます。

人材育成プログラム開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2017年3月19日～22日

第2回 地域プログラム 開催地未定 2017年7月下旬～8月上旬予定

第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2017年10月7日～9日

第4回 総括・まとめ 東京開催 2018年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担いたします。

本事業は、内閣府子供の未来応援国民運動平成28年度未来応援ネットワーク事業として採択されています。